

4年間の学び

通常の保育士や幼稚園教諭養成の科目の他に、
3領域(健康支援／発達支援／地域子ども・家庭支援)の展開科目群が
用意され、プラスαの高い専門性を備えた保育者を目指します。



保育士・幼稚園教諭を目指す東さんの時間割

[2年 前期]					
	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1限 9:00-10:30	乳児保育Ⅰ				保育内容総論
2限 10:45-12:15	保育・教育課程論		演習ⅡA	保育内容 (人間関係)	子どもと健康
3限 13:10-14:40	子どもと表現ⅡA	Point 1 病児保育論	Point 2 保育内容 (表現Ⅰ)	子どもと環境	空き教室で 自習
4限 14:55-16:25	Point 3 保育内容 (健康)	子どもの保健	ピアノ室で 課題の自習	友達と 課題の自習	
5限 16:40-18:10		基礎小児医学※			基礎小児医学※

※基礎小児医学は毎週のカリキュラムではありません。

Point
1

心肺蘇生法や誤飲の際の対処法、手洗いの仕方など実践を交えながら学習を行う授業です。

Point
2

図画工作室でグループに分かれ、子どもの気持ちを考えながら授業毎に作品を制作します。

Point
3

実際に身体を動かしながら、運動を通して保育の中で活きるさまざまな活動を学びます。

総合子ども学科 3年 東 真羽さん
[大分県 杵築高等学校出身]



1年次

少人数制のゼミの中で基礎を学びます。「演習ⅠB」では保育所・幼稚園・こども園の見学実習を行い、自身のキャリアについて考える機会を創出します。

2年次

医学部での講義も始まり、専門的な知識・技術を身に付けながら、「演習ⅡA」での体験実習や「演習ⅡB」での地域活動などを通じて実践力を培います。

3年次

卒業研究に向けた学修・研究が始まります。授業で学んだ諸理論を保育実習と教育実習(幼稚園)を通して体験的に学び、保育・教育を総合的に理解します。

4年次

4年制大学ならではの学際的・専門的な学びを通して自身が興味・関心のあるテーマを探索し、論文にまとめます。

○基礎教育科目 [外国語科目／キャリア科目／教養科目]

○専門教育科目

人間の健康の基礎を学ぶ	〈前期〉人間健康学入門 必修 対人コミュニケーション論 からだのしくみ 〈後期〉発達支援論Ⅰ 子ども社会学 基礎スポーツ医科学	〈前期〉青少年問題の社会学 医学総論 〈後期〉青少年問題の社会学							
学習・研究の方法を学ぶ	〈前期〉演習ⅠA 必修 〈後期〉演習ⅠB 必修	〈前期〉演習ⅡA 必修 〈後期〉演習ⅡB 必修	〈通年〉演習Ⅲ 必修				〈通年〉演習Ⅳ 必修	〈通年〉卒業研究 必修	
子ども支援の基礎を学ぶ	〈前期〉子ども学概論 必修	〈前期〉基礎小児医学 必修 〈後期〉発達障がいの医学 必修							
教師・保育者の職務の基礎を学ぶ	〈前期〉保育・教職論 保育原理 社会福祉 〈後期〉教育原理 社会的養護Ⅰ	〈前期〉子どもの保健 保育・教育の心理学 幼児教育の制度と行政	〈前期〉子ども家庭福祉 子ども家庭支援の心理学 子ども家庭支援論		〈後期〉子どもの食と栄養				保育・教職実践演習 教師・保育者の専門性の完成
幼児教育・保育の専門的事項・技術を学ぶ	〈後期〉子どもと表現Ⅰ 子どもと言葉	〈前期〉子どもと表現ⅡA 子どもと健康 〈後期〉子どもと表現ⅡB 子どもと人間関係 子どもと環境	〈前期〉保育実践(造形)		〈後期〉保育実践(音楽) 保育実践(幼児体育)				
教師・保育者の職務の方法を学ぶ		〈前期〉保育内容総論 保育内容(健康) 保育内容(表現Ⅰ) 乳児保育Ⅰ 保育・教育課程論 〈後期〉幼児教育方法論 子どもの理解と援助 保育内容(環境) 保育内容(表現Ⅱ) 保育内容(人間関係) 保育内容(言葉) 特別支援保育・教育 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全	〈前期〉社会的養護Ⅱ		〈後期〉子育て包括支援				
保育・教育実習		〈後期〉保育実習指導ⅠA	〈前期〉保育実習指導ⅠB 教育実習(幼稚園)指導Ⅰ		〈後期〉教育実習(幼稚園)指導Ⅱ		〈前期〉保育実習 (保育所)指導Ⅱ・(施設)指導Ⅱ	〈後期〉保育実習 (保育所)指導Ⅱ・(施設)指導Ⅱ	
専門性の高い学びを追求し ABCの科目群より選択し	A 子どもの健康支援を学ぶ	〈集中〉救急処置法 〈後期〉精神保健	〈前期〉病児保育論 〈後期〉発育発達論		〈後期〉健康支援フィールドワーク 学校保健 (学校安全を含む)				
	B 子どもの発達支援を学ぶ	〈前期〉乳幼児発達の基礎	〈前期〉臨床心理学 〈後期〉発達支援フィールドワーク	〈前期〉発達支援論Ⅱ 知的障がい者の心理	〈後期〉発達検査法 特別支援教育各論				
	C 地域の子ども・家庭支援を学ぶ	〈前期〉家族社会学	〈前期〉家族心理学 〈後期〉カウンセリング心理学	〈前期〉地域・家庭支援フィールドワーク	〈後期〉保育コミュニケーション英語				

※2025年入学の学生のカリキュラムです。カリキュラムは変更になる可能性があります。

PICK UP カリキュラム



発達障がいの医学

久留米大学病院の最前線で、発達障がいをもつ子どもの診断や治療を行っている小児科の医師が講義を行います。発達障がいの特性と対応の基本を学習し、基礎知識を身に付けます。



子ども家庭支援の心理学

保育実践や家庭支援におけるさまざまな問題を心理学の知識や技能を活かして解決する能力を養います。



演習ⅡB(サービスマーケティング)

学生が子どもを支援する地域の団体に参加し、活動をともしながら、子どもを取り巻く課題とその対策を考え、実践しています。

PICK UP ゼミ

小津草太郎ゼミ

幼児心理学の研究

総合子ども学科4年
賀川 未喜さん
[広島県
廿日市高等学校出身]

全体での研究方法を学びながら、各自のテーマに沿った個別指導もしていただき、私は「子どもの愛着対象としてのペットの存在」について卒業研究を進めています。学生同士の仲も良く、お互いの研究経過を共有するなど、少人数のゼミならではの「学びの質」の高さを実感しています。



ゼミの一例

諫山裕美子ゼミ [幼児教育学]

大谷 朝ゼミ [幼児教育学、絵本・児童文学]

小津草太郎ゼミ [幼児心理学]

玉井紀子ゼミ [臨床心理学、教育相談]

中原雄一ゼミ [体力学、身体教育学]

中山由里ゼミ [ピアノ演奏学]

秦 佳江ゼミ [社会福祉学、子育て支援]

原子 純ゼミ [児童学、乳幼児教育学]